

移り行く浦島太郎の物語 伊曾保物語

新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

			沈	浮	翻	触	敷	換	舞	仙	輝	寿	鶴	亀	浦
			チン しずーむ しずーめる	フ うーく うーかれる うーかべる うーかぶ	ホン	シヨク ふーれる さわーる	しーく	カン かーえる かーわる	ブ まーう まい	セン	キ かがやーく	ジュ ことぶぎ	つる	キ かめ	うら
			沈	浮	翻	触	敷	換	舞	仙	輝	寿	鶴	亀	浦
			沈	浮	翻	触	敷	換	舞	仙	輝	寿	鶴	亀	浦
			、	、	一	ノ	一	一	ノ	ノ	一	一	、	ノ	、
			⑬ 日が沈む	⑫ 川に浮く	⑪ 英文の翻訳	⑩ 手で触れる	⑨ 昔話を下敷きにした物語(したじき)	⑧ 台本を書き換える	⑦ 物語の舞台	⑥ 不老不死の仙人	⑤ 月が輝く	④ 長寿を願う	③ 日本に生息する鶴	② 亀を助ける	① 源平合戦の壇ノ浦
			(しずむ)	(うく)	(ほんやく)	(ふれる)	(したじき)	(かえる)	(ぶたい)	(せんニン)	(かがやく)	(ちようじゆ)	(つる)	(かめ)	(うら)

移り行く浦島太郎の物語 伊曾保物語

その他の教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 平安 神宮 の鳥居 <small>とりい</small>	(じんぐう)	①7 自伝を 出版 する	(しゅっぱん)
② 不思議 な体験	(ふしぎ)	①8 水に雲が 映 る	(うつ)
③ 悪い 結末	(けつまつ)	①9 焼き 肉 のたれ	(にく)
④ 違和感を 覚 える	(おぼえる)	②0 古典 の歌集	(こてん)
⑤ 明治時代 以 降	(いこう)	②1 恩に 報 いる	(むくいる)
⑥ 室町 時代	(むろまち)	②2 予想しない 出来事	(できごと)
⑦ 小舟で 漁 に出る	(りょう)	②3 複雑な 事情	(じじょう)
⑧ 翌日 には晴れた	(よくじつ)	②4 気持ち 理 解 する	(りかい)
⑨ 故郷 に帰る	(こきょう)		
⑩ 夫婦 で参加する	(ふうふ)		
⑪ 時間が過ぎ 去 る	(さ)		
⑫ 風土記 を研究する	(ふどき)		
⑬ 約束を 破 る	(やぶ)		
⑭ 歴史 博物館	(はくぶつかん)		
⑮ 貴重 な絵画	(きちよう)		
⑯ 伝統を受け 継 ぐ	(つぐ)		

移り行く浦島太郎の物語 伊曾保物語

新出漢字とその他の教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 源平合戦の壇 <small>だんの</small> うら	(浦)	⑭ 平安じんぐう <small>とりい</small> の鳥居	(神宮)
② かめ <small>を助ける</small>	(亀)	⑮ ふしぎ <small>な体験</small>	(不思議)
③ 日本に生息するつる	(鶴)	⑯ 悪いけつまつ	(結末)
④ ちようじゆ <small>を願う</small>	(長寿)	⑰ 違和感をおぼえる	(覚える)
⑤ 月がかがやく	(輝く)	⑱ 明治時代いこう	(以降)
⑥ 不老不死のせんじん	(仙人)	⑲ おろまち時代	(室町)
⑦ 物語のぶたい	(舞台)	⑳ 小舟でりよう <small>に出る</small>	(漁)
⑧ 台本を書きかえる	(換える)	㉑ よくじつ <small>には晴れた</small>	(翌日)
⑨ 昔話をしたじき <small>きにした物語</small>	(下敷き)	㉒ こきよう <small>に帰る</small>	(故郷)
⑩ 手でふれる	(触れる)	㉓ ふうふで <small>で参加する</small>	(夫婦)
⑪ 英文のほんやく	(翻訳)	㉔ 時間が過ぎさる	(去る)
⑫ 川にうく	(浮く)	㉕ ふどき <small>を研究する</small>	(風土記)
⑬ 日がしずむ	(沈む)	㉖ 約束をやぶる	(破る)
()	()	㉗ 歴史はくぶつかん	(博物館)
()	()	㉘ きちよう <small>な絵画</small>	(貴重)
()	()	㉙ 伝統を受けつぐ	(継ぐ)

